

第39回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時：平成22年12月13日（月）9時30分～11時50分
2. 場所：公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、細田委員、米澤委員
4. 議題：①平成22年度第2四半期（4月～9月）決算報告（案）について
②平成22年度第2四半期の運用の評価について
③平成22年度における無格付け等地方債の保有状況
④平成23年度離島対策等支援事業資金出えん計画（案）
⑤情報管理料金の収支均衡計画の実施状況について
⑥資金管理業務規程の変更について
⑦取引証券会社の環境問題への取組状況について
⑧データセンター一次期委託事業者選定について

5. 議事概要

※本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表する。

（1）議題①について

平成22年度第2四半期（4～9月）決算報告（案）について、事務局から資料3-1から資料3-7までを使用して説明。案のとおり承認された。
委員からは次の意見があった。

<意見> （注）○は委員、●は事務局

- エコカー補助金制度が終了したが、第3四半期以降の預託状況に影響してくるのか。
- 10月及び11月の新車購入時預託実績でそれぞれ、前年同期比77%、73%となっており、年度末では当初の年度計画を下回ることも考えられる。
- 理解普及活動支出が少ないが、来年度からは少し前倒しで活動できないか。
- 前倒し実施するよう進めたい。

（2）議題②について

平成22年度第2四半期の再資源化預託金等の運用評価について、事務局から資料4-1及び4-2を使用して説明。案のとおり承認された。
委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- エコカー補助金制度終了後の預託状況が、本年度末保有債券簿価残高の年限別目標である822億円に影響を与えるのか。
- 10月及び11月の預託実績を見る限り、自動車リサイクル料金の収入が減少しており、822億円を下回ることも考えられるので、今後とも注視していく。

- 証券会社間でなぜ債券購入実績に差が出るのか。
- 最良執行の考えに基づき、最良の条件を提示した証券会社から債券を購入した結果である。
- 最良執行の結果、証券会社間で債券購入実績に差が出たとしても問題ではない。

(3) 議題③について

平成22年度における無格付け等地方債の保有状況について、事務局から資料5を使用して報告。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 地方債の新規取得はあるのか。
- 指定格付機関からAA格以上の依頼格付けを付与された地方公共団体の地方債のみ新規取得している。

(4) 議題④について

平成23年度離島対策等支援事業資金出えん計画(案)について、事務局から資料6を使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 離島対策支援事業の個々の輸送単価の最大が28万円とあるが、それは妥当なのか。
- 該当自治体や船会社への問い合わせを行い、大型車両であること、積降にクレーンが必要であること等から妥当性を確認している。

- 不法投棄等対策支援事業の調査データは、時期的な変化がわかるので、100台未満の事案の台数分布状況も含め、国の調査データと合わせて今後整理してほしい。
- 検討する。

(5) 議題⑤について

情報管理料金の収支均衡計画の実施状況について、事務局から資料7を使用して報告。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 今後、情報管理料金のあり方を多方面から検討できる資料を提示してほしい。
- 了解した。

(6) 議題⑥について

資金管理業務規程の変更について、事務局から資料8を使用して説明。案のとおり承認された。

(7) 議題⑦について

取引証券会社の環境問題への取組状況について、事務局から資料9を使用して報告。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 取引先証券会社の環境問題取組状況の取扱いについては引き続き検討してほしい。
- 検討する。

(8) 議題⑧について

データセンター次期委託事業者選定について、事務局から資料10-1及び10-2を使用して説明。案のとおり承認された。

以上